I D @PATIENTID

化学療法を受けられる方へ(リツキサン療法)

患者様用

入院診療計画書 患者氏名 : @PATIENTNAME 様

達成目標 ◇ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	(リッキサン治療) 台療に同意し、必要性を理解している 安心して治療が受けられる 副作用の変化を報告できる リツキサン投与30分前に、アレルギー予防のため抗ヒスタミン剤や解熱鎮痛剤の飲み薬があります	2日目~ ◇副作用の変化を報告できる	返院 ◇重大な副作用がない ◇感染予防のための セルフケアを理解している				
達成目標 今日	台療に同意し、必要性を理解している 安心して治療が受けられる 副作用の変化を報告できる		◇重大な副作用がない ◇感染予防のための セルフケアを理解している				
達成目標 ◇ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	安心して治療が受けられる 副作用の変化を報告できる 	◇副作用の変化を報告できる	◇感染予防のための セルフケアを理解している				
*	リツキサン投与30分前に、アレルギー予防のため抗ヒスタミン剤や解熱鎮痛剤の飲み薬があります		◇継続治療の必要性を理解できる				
(点滴・内服)★	リツキサンはゆっくりのスピードからはじめて、徐々に点滴の速度を速めていきます 30分毎に血圧をはかります 点滴の針の部分が「痛み」「腫れ」「しこりのようになっている」ことがあればお知らせ下さい						
处置 ★	体重を毎朝測定して下さい 点滴ルートを挿入します。点滴開始前にトイレをお済ませください。 移動の際には、点滴刺入部位が引っ張られないようにご注意ください。 点滴の漏れや痛みを感じた場合は、がまんせずにすぐにお知らせください リツキサン開始時、心電図モニターをつけさせてもらう場合があります						
主な 観察	な副作用(次のような症状が現れたらすぐに教えて下さい) 寒気・熱っぽい・体のかゆみ・喉がいがいがする・息苦しい・動悸がする など						
検査主流	主治医の指示により採血・尿検査があります						
活動 安静度	病棟の外へ出ることは原則禁止しています(主治医の指示により検査時は外来に降りてもらいます)						
食事	★ 食事は「加熱食」になります。 食事管理のパンフレットを参考にしてください。★ 食欲の無いときは、無理に食べず、食べられる量だけ食べるようにしてください。						
排泄	★ 尿回数、便回数を退院日の朝までチェックします★ 男性の方も尿が飛び散らないように便座に腰掛けて排尿してください(抗がん剤投与後は、しばらくの間、排泄物の中に残る可能性があります)						
清潔	★ 身体の清潔のためできる限り毎日シャワーに入ってください。(シャワー室の使用時間は8時30分~17時までになります。順番にお呼びします。)★ シャワーが出来ないときは、体ふきの温タオルをお渡しします。						
で 家族への説	主治医から治療・入院期間などについて説明があります 看護師から治療を受ける際の注意点について説明があります 病棟薬剤師から治療に使用する薬剤について説明があります		★退院療養計画書の説明 ★退院時の飲み薬をお渡しします ★次回診察日について説明します				

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。 注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

年 月 日 本人·家族

化学療法を受けられる方へ (リツキサン+CHOP療法)

患者氏名: @PATIENTNAME 様

月日		/	/	/ ~ /	/ 退院		
経過	治療開始前	CHOP療法	リツキサン療法	治療翌日 3日目~	退院		
達成目標	◇治療に同意し必要性 を理解している ◇治療の副作用を理解 している	◇点滴によるトラブルが起きないように注意◇副作用が出現した時に報告できる◇うがい・手洗いの感染予防が実施できる	意を払うことが出来る	◇副作用の変化を報告できる ◇治療前と同じリズムで排便がある ◇うがい・手洗い等の感染予防が実 ◇発熱時の対応が理解できる			
治療看護	治療のためのカテーテルを挿入します毎朝体重を測定して下さい	・吐き気止め、抗がん剤の点滴を行います ・プレドニンの飲み薬が5日間あります (無い場合もあります) ・抗がん剤開始時、心電図	・リツキサン投与30分前に消炎鎮痛剤・抗アレルギー薬を内服します ・リツキサンは少量から始めて、徐々に点滴のスピードをあげていきます ・リツキサン開始後、30分毎に随時血圧などをはかります モニターをつける場合があります	Inte			
		主な副作用	主な副作用	主な副作用			
観察		吐き気・食欲不振・便秘・しびれ・不眠	吐き気・食欲不振・便秘・しびれ・不眠 発熱・ふるえ・寒気・頭痛・息苦しさ・動悸	吐き気・食欲不振・便秘・	しびれ・不眠		
検査	・主治医の指示のより、レントゲン、採血や検尿があります						
安静度	・病棟の外へ出ていただくことは原則禁止しています(主治医の指示により検査時は外来に降りてもらいます)・抗がん剤の点滴中はできるだけ安静に過ごしてください						
食事	・食事は「加熱食」になります。食事管理のパンフレットを参考にしてください・吐き気予防のため、抗がん剤投与前の食事は軽めにするほうが効果的です						
清潔	 体の清潔のため、できるだけ毎日シャワーに入るようにしてください(8時30~17時までの間に順番にお呼びします) シャワーができないときは体拭きの温タオルをお渡しします 首から点滴のカテーテルが挿入されている場合は、首から下のシャワーのみにしていただくようお願いします。 						
排泄	 ・尿回数、便回数を毎日チェックしますので検温表に記入してください(主治医の指示で尿量をはかる場合があります) ・便秘に注意しましょう(便が硬くなったり、便の量が少なくなった場合は下剤を使用することがあります) ・男性の方も尿が飛び散らないように便座に腰掛けて排尿してください(抗がん剤投与後は、しばらくの間、排泄物の中に残る可能性があります) 						
説明	• 薬剤師から治療に使用	期間に関する説明があります するお薬の説明があります るときの注意点について説明があります		・看護師から追説明がありま	限院後の注意事項について ∈す		
その他	・点滴中に「痛み」「腫れ」「赤み」「しこりのようになっている」ことがあればすぐお知らせください。針をさし直すことがあります。程度に応じて適切な処置をします。 ・点滴開始前にトイレや洗面などを済ませておいてください。 ・点滴の針を抜いた後に血管に炎症が起こることがあります。看護師も観察させていただきますが、「痛み」「腫れ」などがあればお知らせくださ ・熱がある(37.5度以上)、寒気がするなどの症状があれば教えてください。						